小学生の地域スポーツへの母親の関わり(1)

母子のチームへの参加満足度を規定する要因

○井梅由美子・大橋恵・藤後悦子

(東京未来大学こども心理学部)

キーワード: 地域スポーツ, 小学生, 参加満足度

Mothers involved in community sports of elementary school kids (1)

Yumiko IUME, Megumi M. OHASHI and Etsuko TOGO

(Faculty of Child Psychology, Tokyo Future Univ.)

Key Words: community sports, elementary school kids, satisfaction

目 的

我が国では、小学生が放課後にスポーツ活動を行う場として、サッカー、野球、バスケットボール、バレーボールなどのチームスポーツを中心に、地域で誰でも参加できるボランティア主体のチームが多く存在する。これらのスポーツは一般に地域スポーツと呼ばれ、民間で経営されているスポーツチームと異なり費用面では比較的安価であることが多い。しかし一方で、ボランティア主体の活動であることから、保護者の関わりも大きくなることが特徴である (Smoll & Smith, 2002)。また、チームに参加する親子のニーズも様々であり、勝敗へのこだわりやレギュラー争い、あるいはコーチの厳しい指導などに困難を感じる場合もある (藤後ら, 2016)。任意のボランティア団体であるのだから、嫌なら辞めればよいとの考えもあるが、子どもにとっては貴重なスポーツの機会であり、親の気持ちと子どもの気持ちが一貫するとも限らない。

そこで本研究では、どのようなチームであれば、母子双方が楽しく地域スポーツに参加することができるか、地域スポーツに参加経験のある子どもを持つ母親を対象にオンライン調査を行い、母子双方の参加満足度を高める要因について検討することを目的とする。

方 法

手続き 調査会社に委託し、オンライン調査を実施した。

対象者 小学校4年生から高校生の小学校時代に地域スポーツを1年以上経験した子を持つ母親500名 (平均年齢44.80歳 SD=4.92 28~67歳)。

調査項目 a) チーム及び子どもの競技レベル: チームレベルについては、全国大会出場レベル/地方大会出場レベル/県(都・道・府)大会出場レベル/地区大会上位レベル/地区大会中位レベル/それ以下の6件法、子レベルについては、レギュラー/準レギュラー/補欠/それ以下の4件法で尋ねた。b) コーチの指導に関する項目: 藤後他 (2015) を参考に6件法にて尋ねた。c) 保護者の応援態度に関する項目: 自由記述による調査 (井梅他, 2017) に見られた項目を参考に地域スポーツ場面にて保護者の問題となる応援態度に関する項目を作成した。22項目6件法。d) チーム風土に関する項目: 子どもが参加しているチームの風土について、7項目6件法にて尋ねた。e) 子ども、および保護者のチーム参加についての満足度: 「子どもはチームに楽しく参加している」(子ども満足度) 「子どもをこのチームに入れて良かったと思う」(保護者満足度) など、チーム参加の満足度について、各3項目6件法で尋ねた。その他子どもの性別、参加種目 (サッカー、野球、バスケットボール、バレーボール) 等について尋ねた。

結 果 と 考 察

項目分析 応援席ハラスメント、チーム風土、およびコーチの指導に関する項目について、それぞれ因子分析を行った。応援席ハラスメントについては4因子が得られ、第1因子から順に「レギュラー争い」因子 ($\alpha=.94$)、「コーチへの攻撃」因子 ($\alpha=.92$)、「子どもへの攻撃」因子 ($\alpha=.91$)、「当番をめ

ぐるトラブル」因子 ($\alpha=.89$)とした。チーム風土については2因子が得られ、第1因子はチームの勝利に重点がおかれていることから「結果主義」因子 ($\alpha=.87$)、第2因子は勝敗等結果よりもその過程を重視している内容がまとまり「努力主義」因子 ($\alpha=.82$)とした。コーチの指導については、感情的に怒鳴るなどの「コーチハラスメント」因子 ($\alpha=.92$) と、子どもたちの能力に応じた「適切な指導」因子 ($\alpha=.90$)の2因子を得た。

参加満足度を規定する要因の検討 チーム参加への満足度について、母子双方の満足度にどのような要因が影響しているかを検討するため、重回帰分析を行った (Table1)。分析の結果、母親の満足度については、チームの風土が勝敗よりも結果を重視する「努力主義」であることや、コーチの指導が適切であること、チームが強い (競技レベルが高い) こと、子どもの競技レベルが高いことなどが母親の参加満足度を高め、保護者の応援態度として「レギュラー争い」などがあることは参加満足度を低めていることがわかった。一方、(母親から見た) 子どもの満足度についても、概ね母親の満足度と同じ要因が影響していることが見られたが、異なる点として、チームの風土が勝敗へのこだわりが強い「結果主義」であることは満足度を低め、また、チームが強いかなにかについては子どもの満足度には影響を与えていないことが分かった。

Table1 参加満足度に関する重回帰分析結果

	母満足度	子満足度
	β	β
保護者の応援態度		
レギュラー争い	-.271 **	-.320 **
コーチへの攻撃	.157 **	.055
子への攻撃	-.016	.148 **
当番トラブル	-.035	.114
チーム風土		
結果主義	.009	-.111 *
努力主義	.312 **	.105 *
コーチハラスメント	-.050	-.087
適切な指導	.292 **	.477 **
チームレベル	.104 **	.016
子レベル	.144 **	.203 **
子性別	-.042	-.058
調整済 R^2	.495 **	.471 **

* $p<.05$ ** $p<.01$

引用文献

井梅由美子他 (2017). 地域におけるジュニアスポーツの現状と課題 東京未来大学紀要, 10, 167-176. / Smoll, F. L. & Smith, R. E. (2002). Children and youth in sport. St. Louis: Kendall/Hunt/ 藤後悦子他 (2015). スポーツにおけるポジティブ体験・ネガティブ体験とスポーツ・ハラスメント容認志向. 東京未来大学紀要, 8, 93-103.